

【みやぎハイスクール通信（9月掲載号）】

●部活動について

〈新体操部〉

8月7日（金）に、兵庫県神戸市で開催された令和8年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）新体操競技団体に、本校新体操部が出場しました。

演技では、若干のミスがあったものの、終始落ち着いて演技することができ、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮することができました。選手一人ひとりが最後まで集中して演技に臨み、チーム一丸となって全国の舞台に挑むことができました。結果は団体第16位となりました。

今回の大会を通して、全国の舞台で演技することの難しさや、日々の練習を積み重ねることの大切さを改めて実感しました。この経験を今後の活動に生かし、さらなる成長と飛躍を目指して努力していきます。

これまで支えてくださった皆様、そして温かいご声援をいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。応援ありがとうございました。

〈弓道部〉

8月1日～3日に開催の令和8年度インターハイ弓道競技（開催地：和歌山大会田辺市）に参加しました。弓道部としては昨年度に引き続いての参加ですが、今年度は団体ではなく男子個人の部に渡邊大志（3年）が参加しました。県高校総体では、団体戦で、団体優勝した白石高校、名取北高校と最終試合までもつれるデッドヒートを繰り広げ、残念ながら本校は団体での出場を逃し、個人のみの出場となってしまいました。したがって渡邊にとっては、団体で出場できなかった友人たちの思いも背負ってのインターハイでした。

インターハイ参加当時の近畿地方は、雲一つない晴天が続く非常に暑い時期でした。選手としても体調の維持と射技の調整が難しい環境でしたが、渡邊は予選では4射皆中し、準決勝に進出。しかし準決勝ではいつも通り引けたものの、4射2中という結果となり敗退（順位つかず）しました。

結果に悔いは残りますが、3年間の部活動の集大成となる大舞台で最後までやりきることができたことは、本人にとって非常に有意義でした。これまで応援・支援してくださった校長先生はじめ学校関係者の皆さま、そして同窓会の皆さま本当にありがとうございました。

